

岸田 吟香(きしだ ぎんこう)

資 料

書(七言絶句)『舎北晚眺(陸游)』

紅樹青林帶暮煙 並橋常有売魚船

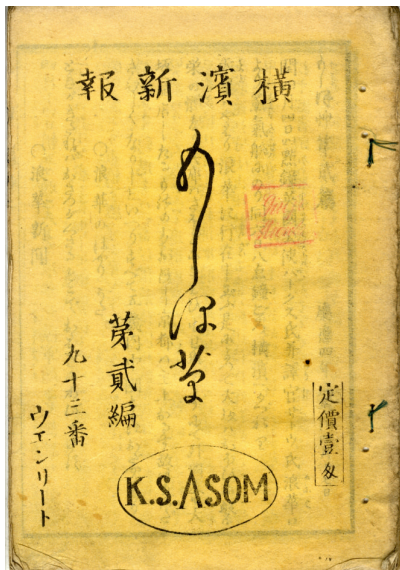
樊川詩句營丘画 尽在先生拄杖邊

岸吟香

* 落款は、「吟書」「岸吟国菴」「大塊頭」。

図書『横浜新報もしほ草(1-7)』

* 1868年に米国人バン・リード(Van Reed, Eugene M.)と岸田吟香が横浜居留地で週2回発行した新聞で明治3年まで刊行される。表紙に「Ginji Kicida」の朱印が押されている。



作 者

1833(天保4). 4. 8－1905(明治38). 6. 7

美作(岡山県)久米郡生まれ。

江戸に出て漢学者藤森天山の門人となり、幕府から追われ身を隠す。儒官や茶飯屋の主人など世を転々としながら蘭学を学ぶ。眼を患い箕作秋坪の紹介で横浜に来てヘボンの治療を受ける、そして、彼の『和英語林集成』の編纂に協力する。ヘボンより伝授された眼薬の「精錡水」を販売して訓盲院設立の資金とした。その後、横浜で「新聞の父」ジョセフ彦の『海外新聞』を手伝い記者となる。さらに『横浜新報もしほ草』を発行し、明治6年『東京日日新聞』に参加する。

参考文献

- 『先駆者岸田吟香伝記・岸田吟香』(杉山栄／著 大空社(伝記叢書 115) 1993. 6 [県立 289. 1/3227(20611489)])
- 『世はままよ 岸田吟香ものがたり』(小林弘忠／著 東洋経済新報社 2000. 9 [地域 K28. 1/504 (60310885)])
- 『英語手引草(乾坤)』(岸田吟香／著 錦誠堂 [187－] [地域 K83. 1/5(50367127)])
- 『岸田吟香』(岩崎栄／著 新興亜社 1941. 8 [地域 K28. 1/558(60532918)])
- 『岸田吟香－資料から見たその一生』(杉浦正／著 汲古書院(汲古選書 19) 1996. 7 [地域 K28. 1/445(60194065)])